

授業科目：	英語Ⅱ		
科目区分：	全学共通教育	受講者数：	30名
担当者：	本岡 直子（保健福祉学部看護学科）		
アクティブ・ラーニングのタイプ：	行動型 ・ <b>参加型</b> ・ 複合型（※行動型・参加型ALを組み合わせ実施）		
キーワード（具体的なAL手法等）：	グループワーク		

## 1. 授業の概要と目標

本授業科目では、語彙力・文法力を駆使し、多読・速読ができる、書き手の意図を的確にとらえることができる、英文読解を通して、文化や社会問題等についての理解を深める、等を目標としており、対面形式で実施している。

## 2. アクティブ・ラーニング導入の具体的な流れ

○科目名 英語Ⅱ 第3回

段階	指導過程・学修活動	指導上の留意点(工夫)	評価方法
導入	前時の内容の振り返り(20分) ・復習小テスト ・前回の課題の解説	前回の課題について、間違いの多かった点について解説する。	小テストの結果や課題の結果は評価の一部とする。
展開	英文を読みながら、ワークシートの問題に取り組む。  あらかじめ組まれているグループで、ディスカッション。  クラス全体で共有。  テキストの問題にも同様に取り組む。	ワークシートの回答について発表して、正解を確認する。  適宜補足説明を行う。  理解不足だった場合どのように理解へと結びつけるかの説明を工夫する。	ワークシートは提出して、その内容を確認する。
まとめ	宿題として準備していた各テーマに対するプレゼンテーション用資料を作成する。(20分)		各グループが作成した資料の内容を評価

## 3. 成果・効果

ワークシートや教科書の問題にグループで取り組むことにより、間違っていてもとりあえず自分の意見をいう姿勢を育成することができたと考ええる。

内容を理解し、またそれを利用して英語を発信する、ということにつなげる活動ができたと考ええる。

## 4. 課題

あらかじめグループごとに資料を準備しておくようにと指示を出しておいたが、グループによって準備の内容が全く異なり、プレゼンテーション用資料の完成度が異なった。また、協調性のない、あまり話し合っている様子が見られないグループがあった。

グループワークの場合、グループ格差が生まれるのは仕方がないことではあるが、それをどう是正するかが課題である。

## 5. 資料

ワークシート、テキスト、パワーポイント資料